

科目分類	豊かな人間性を育む分野			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
61107	1	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)	ボランティア論 (Volunteer Outline)				
担当教員名	中村 安秀				
授業の概要及び到達目標					
<p><概要> ボランティアの概念、活動の原則、世界と日本でのボランティアの背景、現状、課題について学ぶ。また現代の日本において共生社会や医療保健の推進におけるボランティアの諸相、活動の実態、意義、課題について知りボランティアを理解する。外国や日本でボランティア活動経験のあるゲストスピーカーを招き、事例を通し、理解を深める。</p> <p><到達目標及びテーマ> 新しい公共の実現に向けて、さまざまな社会的課題解決に取り組むボランティアについて解説し、市民社会や医療保健の推進にとって不可欠な、現代社会におけるボランティアについての理解を深め、社会化し自立した医療者としての社会観を養い、コミュニケーションとホスピタリティを豊かにすることを目標とします。 【未来への確かな希望を持って生きる力】【自助／公助に次ぐ第三の助け合い共助】をともに学びあいます。</p>					
準備学習等					
<p>第1回：気軽に参加できる、自己犠牲的な精神は必要ない、自発性が大切かもしれない。 といったようなボランティア活動のイメージを共有するためワークショップを行います 参考図書「新ボランティア学のすすめ」第1章「ボランティアとは何か」を熟読すること</p> <p>第2回：ボランティアの理念の変遷とサービスマナーについて理解する 参考図書「新ボランティア学のすすめ」第2章、第4章を熟読すること</p> <p>第3回：ボランティア活動の現状と課題 ワークショップによりボランティア活動の多様性について考える 参考図書「新ボランティア学のすすめ」第7章、第8章を熟読し、 「障がい者、平和活動とボランティア」について自分の考えをまとめること</p> <p>第4回：ボランティア情報に関する検索と具体的なコンタクトの方法を学ぶ 参考図書「新ボランティア学のすすめ」第5章「大学生とボランティア」を熟読し、 大学生としてのどのように社会とかかわれるのか自分の考えをまとめること</p> <p>第5回：海外でのボランティアの実情を学ぶ 参考図書「新ボランティア学のすすめ」第9章「開発援助とボランティア」、 第10章「途上国とボランティア」を熟読し、海外でのボランティア活動の課題をまとめること</p>					

<p>第6回：多文化共生とボランティアについて学び考える 参考図書「新ボランティア学のすすめ」第6章「外国人とボランティア」を熟読し、和歌山県における外国人との多文化共生の課題をまとめること</p> <p>第7回：災害とボランティアについて学び考える 参考図書「新ボランティア学のすすめ」第11章「人道支援とボランティア」を熟読し、災害時のボランティア活動の課題をまとめること</p> <p>第8回：ひとりの市民として生きるボランティア活動を学修する 「新ボランティア学のすすめ」第14章「ボランティア学はどう変わるのか」（中村安秀）を読んで自分なりのボランティアに対する考え方をA4で3枚のレポートにまとめること</p>	
成績評価の方法	レポート評価40% 毎回のリアクションペーパーの内容を評価 試験60% 理解度の確認とボランティアについての考察を評価
テキスト	なし。 授業時に資料としてプリントを配布します。
参考図書	「新ボランティア学のすすめ」、(昭和堂：平成26年12月発行)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会では、医療・保健分野においても、市民社会との協働が大きなテーマとなっています。学生時代に、ボランティア活動に参加しておくことは、これからの皆さんの生活や人生にとって、貴重な経験になると思います。 ・質問は、授業中および授業終了後に受け付けます。
授 業 計 画	
<p>第1回：科目説明、授業のルール、レポートと試験について ボランティア活動のイメージをワークショップで探る 視聴覚教材でボランティアの世界の現状と課題を知る</p> <p>第2回：ボランティアの理念の変遷とサービスラーニングについて理解する 市民社会や保健医療福祉の関連とボランティアの関連を考える</p> <p>第3回：ボランティア活動の現状と課題 ワークショップによりボランティア活動の多様性について考える</p> <p>第4回：ボランティア情報に関する検索と具体的なコンタクトの方法を学ぶ</p> <p>第5回：海外でのボランティアの実情を学ぶ</p> <p>第6回：多文化共生とボランティアについて学び考える</p> <p>第7回：災害とボランティアについて学び考える</p> <p>第8回：ひとりの市民として生きるボランティア活動を学修する</p> <p>定期試験</p>	

科目分類	豊かな人間性を育む分野			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
61108	1	後期	選択	1	30
授業科目名 (英文)	ボランティア活動 (Volunteer Activity)				
担当教員名	中村 安秀				
授業の概要及び到達目標					
<p><概要></p> <p>演習により、ボランティア活動をするときの基礎的な知識やマナーを確認し、グループを作り、ボランティアの目的と活動内容、グループでの活動ルールなどを話し合う。実際にボランティア活動を行い、その体験から学んだことをグループでまとめて発表する。各グループからの学びを共有し、共生社会について考える。</p> <p><授業の到達目標></p> <p>ボランティアを実践活動することにより、「援助し、援助される関係」を体験し、「ともに生きる」ボランティア活動を理解するとともに、現代社会の課題や背景や取り組みについて具体的体験的に理解し、ボランティアの社会性と可能性を考えます。体験からの学びによる共生社会の具現化を目的とします。</p>					
準備学習等					
<p>第1回：ボランティア活動の基礎知識①ボランティアする側とされる側について／安全対策</p> <p>第2回：ボランティア活動の基礎知識②マナーと活動のための留意事項</p> <p>第3回：活動計画の作成に向けて</p> <p style="padding-left: 2em;">どんな活動を（どこで、何をするのか）、どのような形態・時間ですか</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 活動計画を作成（計画書が評価対象になります）</p> <p style="padding-left: 2em;">（活動先や活動内容の変更は認めますが、変更理由を報告書裏面に記入すること）</p> <p>第4回：ボランティア活動実践</p> <p>第5回 ～ 第11回：ボランティア活動演習</p> <p style="padding-left: 2em;">実際に計画に沿ってボランティア活動を行う。</p> <p style="padding-left: 2em;">毎回、どのようなことを行ったかボランティア記録に記載し提出する</p> <p>第12回：活動報告の準備（自己の活動実践報告とグループでの学びをまとめる）</p> <p>第13回：ボランティア活動体験の振り返り（報告会）</p> <p>第14回：ボランティア活動体験の振り返り（報告会）</p> <p>第15回：「ボランティア活動」のまとめとしてのレポート作成</p>					

成績評価の方法	活動計画書（30%）と活動報告書（40%）と報告会レポート（30%）を評価する。
テキスト	なし。資料を配布します。
参考図書	ボランティア活動先に関する図書・資料については授業及びメールで随時紹介します。 「新ボランティア学のすすめ—支援する／されるフィールドで何を学ぶか」、（内海 成治、中村 安秀（編）：昭和堂）
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・質問は、授業中および授業終了後に受け付けます。 ・学生の自発性を発揮してボランティア活動を行います。教員からの指示待ちの姿勢ではなく、自ら進んで積極的に取り組んでください。
授 業 計 画	
<p>ボランティア論の授業で活動先の選び方等を説明します。</p> <p>第1回：ボランティア活動の基礎知識①ボランティアする側とされる側について／安全対策</p> <p>第2回：ボランティア活動の基礎知識②マナーと活動のための留意事項</p> <p>第3回：活動計画の作成に向けて</p> <p style="padding-left: 40px;">どんな活動を（どこで、何をするのか）、どのような形態・時間ですか</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 活動計画を作成（計画書が評価対象になります）前期終了日までに提出 （活動先や活動内容の変更は認めますが、変更理由を報告書裏面に記入すること）</p> <p>第4回：ボランティア活動実践</p> <p>第5回 ～ 第11回：ボランティア活動演習</p> <p style="padding-left: 40px;">実際に計画に沿ってボランティア活動を行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">毎回、どのようなことを行ったかボランティア記録に記載し提出する</p> <p>第12回：活動報告の準備（自己の活動実践報告とグループでの学びをまとめる）</p> <p>第13回：ボランティア活動体験の振り返り（報告会）</p> <p>第14回：ボランティア活動体験の振り返り（報告会）</p> <p>第15回：「ボランティア論」「ボランティア活動」のまとめとしてのレポート作成</p>	